

高田短期大学通信

TAKADA JUNIOR COLLEGE
2004年(平成16年)7月9日 発行 高田短期大学・編集 図書委員会 第39号



社会の変容と共に歩む

学長 村澤 忠司

このたび、四月一日に本学学長に就任いたしました村澤忠司です。一昨年に開校130年を迎えました伝統ある高田学苑の一隅を担う高田短期大学を、なお一層、地域の高等教育機関として整備・充実させ、地域の住民の方々にご理解いただけるように教職員・学生一同が教育・研究・学習活動に専念し、また、地域の発展に貢献できる大学として期待されるように努めたく思っています。

本学は、幼児教育学科とオフィス情報学科の2学科からなる入学定員220名の小さな共学の短期大学です。しかし、毎年、入学してくる学生は三重県全域から集まってくることからして、まさに地域の教育機関としての県民の方々から大きな役割と期待を持っていただいていることがわかります。教職員を始め、在学する学生とともに、その期待に応えていかなければなりません。本年3月に卒業した学生の就職状況も、厳しい社会環境にも関わらず、幼児教育学科では公立・私立の幼稚園や

保育所等にはほぼ100%の就職率となっています。一方、厳しい経済状況にもかかわらず、オフィス情報学科では学生と教職員の一体となった就職への取り組みが効を奏して90%の学生が就職先を卒業までに得ています。このように、両学科ともに、社会の変容に機敏に対応できる教養・専門知識を取得して、この4月から新社会人として高田短期大学を巣立っていきました。二年生は無論のこと新しく入学された一年生の方もこれに続くことを期待しています。現在は情報化社会であるとも言われています。20世紀のモノを中心とした社会から知識・情報を重要視する社会に21世紀は移行してきています。別な言い方をすると、「希少性の原理」から「付加価値性の原理」へと社会の規範が変わってきています。単にモノを所有する時代から、そのモノに如何に付加価値を付けるかが問われています。学生の皆さんは、高田短期大学の在学中の2年間に自分自身に如何に付加価値を付けることができるかが問われます。新館の図書館で読書をするこ

も、多くの信じ合える友達を作ること、公的な資格を取ることも、友と共に何をして何かを成し遂げることも各人の付加価値を高めることに繋がっていきます。大学の授業のカリキュラムは、皆さんが社会に巣立つまでに、新たな自己の目的を実現できるように役立つように構成されています。本学の建学精神でもある「仏教精神に基づく人間教育」を尊び、「豊かな人間性」、「思いやりのある心」を教

学生自治会

今年の執行部は今までにない、12人という大所帯で、個性的なメンバーばかりです。大人数ということで意見をまとめることが大変ですが、その分12通り、それ以上といったアイデアが浮かびます。私達の執行部としての活動は始まったばかりでこれからもっと大変になって来ると思いますが、12人力を合わせて何事にも全力で取り組み、皆さん一人一人がこの学校に入学して良かったと心から思っていた、良くなるように日々頑張っています。私たち自治会執行部はいろいろな活動をしています。

- ① 学生自治会の年間業務の企画・予算
- ② 「高短祭」の計画・実施
- ③ 卒業アルバム編集
- ④ 謝恩会の企画・実施
- ⑤ クラブ部長会議・学生大会・自治委員会開催
- ⑥ 「セーフティたかだ」での地域の安

育の理念として、人や自然と優しくふれあうことができる「おらかな心」を持った人間の育成をモットーに教育を行っています。その実現のためには、学生と教職員が協働で取り組まなければなりません。

在学期間は僅か2年間ですが、この間に我々がするべきことは多く課せられています。今まで以上に、皆さんが社会の変容に順応した付加価値の創造に努められることを願っています。

全活動

学生生活の中の大イベントはなんと言っても「高短祭」です。今年で39回目を迎える「高短祭」は10月30日(土)・31日(日)に開催がきまつております。模擬店、展示、イベント、各クラブ活動・同好会の催し物、学生全員が楽しめるビンゴ大会など、楽しい企画を考えていきたいと思います。

「高短祭」について、皆さんの意見をお待ちしております。企画に対する要望・模擬店に対する質問・その他もろもろ何でも結構です。アンケート(アドバイザー)の積極的な意見や活動)にも是非答えてください。皆さんの手で大学祭を盛り上げていきましょう！各クラブ・同好会の皆さん、よろしくお願いします。そして当日は先生方も含め全員参加で、地域の皆さんと一緒に楽しみましょう。

1年生の皆さん、やりがいのある執行部の仕事を手伝ってみませんか？そして12月の執行委員の選挙に是非立候補してください！(文責・曜&佳代)



今年の執行部メンバー12人

幼児教育学科
コーナー

地域に開かれた
学科への第一歩

学科長 豊田 和子

関係者の皆様、平素より幼児教育学科へのご支援を賜り、誠にありがとうございます。

「思いやりの心」「豊かな人間性」の育成をめざして全教員が力を合わせて邁進して参りたいと思っております。

本年度から地域貢献新事業として、「高田短期大学保育セミナー」を実施します。第1回セミナーは、8月29日(日)で、音楽表現の実技指導と乳児部会・幼児部会・障害児部会の実践交流を内容として計画です。若い保育者や乳幼児教育に関心のある方々の参加を期待申し上げます。

就職に備えて

音楽基礎技能を磨こう

二宅 啓子

保育者を目指す学生たちは子ども豊かな感性を育て、どのような子どもの音楽活動をも支え、展開できる専門的音楽基礎技能を身に付けようと、日々頑張っています。

入学して間もない1年生たちは、保育者に求められる音楽基礎技能の多様性と深さを知り、驚きの中にも「先生になりたい」という意識のもとに実力

を付ける努力をするようになってきました。

短大という短い保育者養成教育の中でいっただいのような専門的音楽力量を付けなければならぬか、また付けてほしいかを常に私たち教員は考えながら教育に従事しているところです。

1年次の保育実習や、2年次の教育実習経験を終了した時点で学生たちに「将来、保育者として必要な資質の一つである音楽的技術能力とは、どのようなことだと思いますか」と尋ねたところ、第一に学生たちが挙げたのは、弾き歌いに関することでした。第二にピアノ演奏技術習得に関することでした。その幾つかを紹介してみよう。

ピアノの弾き歌いが何よりも必要・ピアノを弾くときは自信を持って楽しく弾けるようにしておく・子どもが曲に合わせて自由に歩いたり、楽しめるような演奏力を持つこと・臨機応変に子どもたちの状況に合わせて伴奏できる力・歌声はとかく明るくくびのびと歌えるようにしておく・子どもたちの遊びに必要な音楽を即、演奏できるような即興演奏力を身に付けておく・歌う楽しさを伝え、子どもと共感できる能力が必要・子どもの気持ちに沿った曲を選択し、その曲を応用できる力・音楽演奏できるレパートリーの幅を広げておくこと等の内容でした。

その他子どもの保育(教育)するときの指導・援助力の面から求められること、また保育(教育)計画力の面から求められることはたくさんありますが、ほぼ全員の学生が将来、保育者になる

ための、またそのために努力継続しなければならぬことを自分の就職活動に対する自己課題として捉え、その学生なりの努力をしているように思います。そういった学生の努力と学科の全教員の協力体制のもと、おかげさまで幼児教育学科学生のほぼ100パーセントが幼稚園、保育所、その他児童福祉施設等に就職させていただいております。少子化、核家族構成の中で育つ子ども達の現状からの問題は複雑化し、時代の変化に対応できる教育者・保育者の役割は大きく、優れた人材が求められています。そこには当然、保育者としての専門性が必要で、益々の資質・能力の向上が求められます。そのような状況において、保育者養成校で学ぶ学生が目指す保育者像に向かって保育職に就くことの意識を深め、音楽的専門力量形成の教育に努めたいと思っております。



音楽棟電子楽器室

研究余滴

みみをすまます

福西 朋子

みみをすまます

きのうのあまだれに

みみをすまます

みみをすまます

いつから

つづいてきたともしれぬ

ひとびとの

あしおとに

めをつむり

みみをすまます

これは、詩人谷川俊太郎の「みみをすまます」という詩の冒頭部分である。

音は、いつどんなときでも絶え間なく生まれ、そして消えていく。形もななく色もなく、ましてや匂いもしない、音というもの。私たちにとって音とはなんだろう。

当然であるが、音は耳で聞くもの、耳に聞こえてくるものである。耳に届くこれらの音が、私たちの生活には欠かせない。まずは、人の音、つまり言葉や音を聞くことによって人の意思疎通をはかっているし、周りの音を聞き分けることによって危険を予知し、身を守っているのである。

それから、私としては、音とは観じるもの、と捉えたい。「観じる(観ずる)」と国語辞典でひいてみると①いろいろと観察して思いめぐらす②静かに思いめぐらして真理をさとる、とある。

つた。また、「観音」という方もおられる。この言葉からも音がもたらすなにかがみえてくるような気がするのである。

人類をはじめとする生きとし生けるものすべて、そしてそれらを生かしている自然の音にじっと耳を澄ましてみる。風がサーッと吹き抜ける音、花びらがはらりと落ちる音、子どもの小さなつぶやき、それから、心臓の鼓動。音を聴くことで気づくこと、心の豊かさや得られたり感受性が磨かれたりすることがある。「澄む(澄ます)」と「住む」は同義語であるらしい。この世界、この地球に住むためには音に耳を澄ますことも大切なことなのだろう。

そして今、身の周りの音に耳を澄ましてみる。なんと電子音の多くなったことか。携帯電話の着信音に人々は支配されているように私は見える。電子音は呼吸をしない音のようで息苦しい。それから遠い国の音ではあるが、銃声、爆撃音、人々の叫び、うめき；そして、嗚咽。これらは今私たちが生きている時代の象徴的な音の風景といえないだろうか。

そして詩は最後に語る…

みみをすまます

きょうへとながれこむ

あしたの

まだきこえない

おがわのせせらぎに

みみをすまます

静かな気持ちで音に耳をそっと澄ましてみてほしい。

オフィス情報学科 コーナー

オフィス情報学科 設立から3周年

学科長 中田 登子

情報化社会という言葉に違和感を覚えなくなりましたが、この社会の変動に積極的に対応すべく、教養学科からオフィス情報学科へ移行して3年が過ぎました。この間、われわれ教員は、学生一人ひとりの個性を活かし、隠れた能力を発見し、その能力を最大限に発揮して社会に貢献できるように、仕事や人生の計画を立てるキャリアプランニングの構築を支援してまいりました。学科の教育指針を笑顔、技能、誠実という3語に集約し、確かな技能を身につけ、おらかな心を持ち、誠実な態度で社会に貢献できる人材の育成に力を尽くしていきたいと思えます。

資格とキャリアをサポートする

オフィス情報学科

岡山 義啓

オフィス情報学科の前身である「教養科」は、1984年に設立されました。それはちょうど今から20年前のことになります。そして、1993年には「教養学科」、2001年に「オフィス情報学科」へと発展してきました。「教養科」の発足当初から地域のキャリア教育を重視する方向で、その当時

から情報関連および秘書関連の資格取得をサポートするカリキュラムが組まれていました。この20年間に輩出した卒業生はすでに1500人を超えています。ですから、銀行でも病院でもあるいは携帯電話を買いに行ってもいたるところで卒業生に会うことができます。このことは、地域のキャリア教育をわれわれがサポートしてきた証であり、教育の方向性が正しかったという証明でもあります。

2004年の4月から、オフィス情報学科は新たなカリキュラムを導入しました。もちろんこのカリキュラムの方向性は、地域のキャリア教育を推進していくことをより一層重視し、取得をサポートする資格も大幅に増えています。

ところで、文部科学省は2003年より「若者自立・挑戦プラン」（キャリア教育総合計画）の推進に着手しました。これは、以下の現状を憂慮し、若者へのキャリア教育を勧めようとするものです。

- ①24歳以下の高い失業率（約10%で、全体の失業率の約2倍）
- ②増加する無業者、フリーター等（フリーター200万人、若年失業・無業者100万人）
- ③高い離職率（中卒7割、高卒5割、大卒3割）

1984年の「教養科」設立当初から「地域の若者の自立とキャリアサポートを目指してきたわけですから、教養科―教養学科―オフィス情報学科の流れが、常に地域と時代のニーズを先

取りし地域社会に貢献してきたかを理解していただけることでしょうか。

さて、求められる人材像も時代とともに変遷してきていますが、長年のオフィス情報学科の就職進路指導の経験から、社会人に求められる最大の普遍的条件は「明朗快活で誠実であること」と認識しています。そして、「明朗快活な人物の育成」はオフィス情報学科の自由な学風と秘書関連科目によって、「誠実な人物の育成」は仏教を基とした教育によって実現してきました。仏教教育の目指すところは、宗教の押し付けではなく、真の話を正しく素直に聞くことからはじめ、「他人を思いやるやさしい心を持った誠実な人物」を育成することです。さらに、以上の2点に加えて、情報分野を中心とした豊富な資格取得支援科目によって、学生のキャリアをサポートしてきました。まさに高田短期大学オフィス情報学科が育てている人物こそ社会が求めている人物像なのです。

- 1. Smile (笑顔)
- 2. Skill (技能)
- 3. Sincerity (誠実)

今年度もオフィス情報学科は地域の若者の自立とキャリアをサポートし地域社会に貢献していきますので、みな

さまからのご支援のほどよろしくお願いたします。



研究余滴

研究している事

中野 美雅

「行動分析（オペラント条件付けに基づいた、条件性強化刺激による反応性の測定）」、「顔学（美人の研究およびポーズの向きに関する研究）」、「性戦略、進化のプロセスモデルの開発・遺伝子戦略」、「スキル・グレーディング（熟達度の物理学的測定法の開発）」、「プラズマ熱による物質変換を用いたごみ処理の研究」、「コミユニケーション・ロボットのスキル向上に関する研究」、そして、社会福祉系に関して、「訪問介護者の満足度から見た社会福祉法の在り方に関する機能的向上」また、「独居老人援護のための癒し系介護ロボットの開発」などを興味を持って研究しています。

私は大学で、心理学の行動分析に関する研究の訓練を受けました。その後、「人間は情報処理の塊である」と言う

観点から、情報処理関係に携わり（もともと、機械いじりや、電気的な創造物が好きだったせいも有りますが）、情報処理関係も教えるようになりまし。その間、ほとんど職に就かず、40歳過ぎるまで、フリーターとして、世界を廻り、人間の在り方「自由（デモクラシー）」をしつかり学びました。その地域での人間の行動特性、比較文化等を実体験から学んできました。生命活動探求は面白いし、尽きる事がないので、毎日忙しく過ごしています。

同じ人間でありながら、多種多様な人間が存在しています。同じ格好をしている人間では有りますが、知識のない人、豊富な人、社会的欲求の強い人、そうでない人、それぞれが、与えられた生命活動現象の中で行動を繰り広げています。人間は社会集団の中で行動をしていますから、当然、その集団・組織とも関わりますし、与えられた環境の中で最大の効率を上げる行動をしようとして生存しています。その行動様式は、環境から学習によって獲得された行動様式になります。それらを解き明かし、その行動様式をロボットに組み込めば、面白い作品が出来上がると考えています。

そのため、現在も大学院の博士課程で学びながらロボット工学の研究もしています。

でも、私は決して研究好きではありません。すべて消去法のなせる業です。でも、嫌いでもありません。一度しかない人生ですから楽しく過ごそうと頑張っています。

着任のみなさん



田口 鉄久

実践からの 学びを大切に

この4月より「教育・保育実習指導」を担当させていただいております。幼児教育・保育・福祉の理論と保育技術を実践現場で総合して学ぶ教科です。保育者養成に長い歴史をもつ高田短期大学の教員に加えていただいたことを光栄に思います。

30年余り幼稚園教育の現場にいて子どもの姿、保育者の援助のあり方、保護者との連携の重要性、園運営のポイントなど数多くを学んできました。短大での授業ならびに幼稚園・保育所・施設実習を通して学生の皆さんと共に実践的な学びを深めたいと考えます。



鼎 龍教

はじめまして

この度、高田中・高等学校の事務部から、高田短期大学事務局に来ることになりました。これからは本学の教職員の一員として頑張っていきたいと思っております。

短期大学に来て先ず思った事は、中・高等学校に比べ緑いっぱいすばらしい環境の中で学べると言うことです。大いに大学生活をエンジョイして下さい。また中国からの留学生も沢山いるようですが、かつて日本では天平の世に仏教や文化を学ぶために多くの僧や学生が中国に渡りました。またその頃、中国からは鑑

真和尚も長い年月をかけてやっと日本に来ることが出来、日本の仏教に大きく貢献された歴史があります。留学生の皆さんも日本の大学に学び、これからの中国の発展のために大いに貢献していただきたいと思っています。



松浦 幸代

はじめまして

鈴鹿高専から継続して高田短大に勤務させていただきました。最初、駐車場の巡回で学生さん達の服装を見てびっくりし、不安がよぎりました。2ヶ月近く勤めた今の印象は見かけよりまじめでかわいい学生さんが多く、楽しい毎日で、又学内は綺麗で勉学に最適な環境だと思います。

私の好きな言葉に、「おかげさま」があります。(詩人相田みつを) つまづいたおかげで自分のことがわかってきました。あやまちや失敗を繰り返したおかげで、人のことをいう資格のない自分に気がつきました。

だから、つまづくのもおかげさま、ころぶのもおかげさまで。いつも、失敗を恐れずおかげさまで積極的に努力して頑張りたいと思いますので、どうかよろしくお願ひいたします。



藤善 真裕

みなさん こんにちは

高田学苑に奉職しはや10年。4月より短大勤務となり、現在主に教務関係の業務に携わっています。皆さんには、履修・成績・資格等々の関係で顔を合わせる

ことが多いと思います。何事にもできる限り早く・正確に対応していきたいと思っていますので、ご協力の程よろしくお願ひします。



渡邊 綾

新任のご挨拶

この4月から高田短大の総務課図書係の一員としてお世話になっております。まだまだ毎日が新しい発見の連続です。これから色々な業務を通して高田短大をより一層、知っていききたい、という思いでおります。これからは新鮮な気持ちで大切にしつつ、私自身も成長していきたいと思っております。どうぞよろしくお願ひいたします。

11年間の長きに亘る教職員の皆さまのご支援に対し感謝の気持ちで一杯です。本当に有難うございました。

退任のみなさん

久保田郁夫

数々の思い出——社会体験学習の導入、地域に開かれた学校を目指し公開講座の実施、図書館の開放、仏教文化研究センターの開設、また、科目等履修生や社会人学生、更に中国鎮江専科学校との友好締結を機に留学生の受け入れ、ボランティア活動推進室の設置、学校と地域の安全を目指す「セーフティたかだ」の旗揚げ等々……。

お世話になりました

高田短大ありがとう

福岡 重記

ご縁があつて公立高校を定年退職後、日本の将来を支える大切な子供への教育に携わることを目的として入学してこる「幼児教育学科」の人たちを教育するという身に余る職場で6年間お世話になりました。

仏教精神にふれ「心豊かに生きる」という命題のもと日々を過ごそうと誓ってきたが、所詮は凡人・修業の足りない身の悲しさ、教職員・学生の皆さんに大変ご迷惑をかけたことをお詫び申し上げます。

高田短大のさらなるご発展をご祈念申し上げます。お礼の言葉とします。ありがとうございました。

中瀬啓之助

退任に際して

5年間の短大生活は、私にとって本当に楽しく、充実した日々でした。私の未熟さや専門知識の乏しさから学生諸君にご迷惑をかけたところもいろいろあり、申し訳なく思っています。しかし私自身が学生諸君に伝えたかった『子どもと向き合うことの難しさ、喜びや悲しみ、そして、共に学ぶことを通して得られる感動』の一端は、多くの学生諸君が受け止めて下さったように感じています。私を支え、励まして下さった短大教職員の皆様や学生諸君に心から感謝しております。

お世話になりました

山中 榮子

昭和47年11月から30余年の永い間、ほんとうにお世話になりました。

ました。お陰さまで大過なく今日の日を迎える事ができ、心から厚くお礼申し上げます。高田短期大学を離れて1ヶ月余り、まだ退職したという実感がわかないというのが本音です。たくさん教職員及び学生の皆様方から学ばせていただきましたことを、人生の貴重な体験として今後にならせていくつもりでございます。最後になりましたが、高田短期大学の益々のご発展と皆様のご健勝を心から祈念申し上げます。

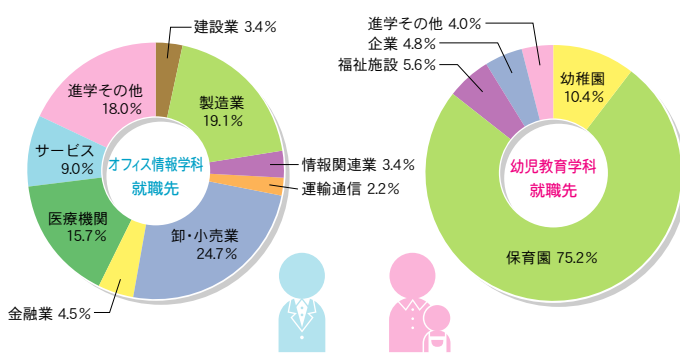
ありがとうございました

高村 幸生

この度、高田中高等学校に転任となり、高田短期大学を離れることとなりました。4年という短い期間でしたが、いろいろな経験をさせていただきました。多くのことを学ばせていただきました。高田短期大学は高田中高等学校とは雰囲気や業務内容が違っており、事務職員としての間口を大きく広げることができたと思います。

また、事務職員でありながらクラブ活動にも参加させていただき、学生の皆さんと目標に向かって汗を流すことができたことも貴重な経験となり、また大切な思い出となりました。今後は少し距離を隔てた中高等学校勤務となりますが、これからの短期大学の発展を外から見守りつつ、中高と短大の架け橋となつて微力ながら何かのお役に立てるよう心がけていこうと思ひます。教職員の皆様、学生の皆さん、卒業生の皆さん、ご迷惑をかけることも多かったと反省しておりますが、貴重な4年間をありがとうございました。





就職先一覧

幼児教育学科 就職先

◆幼稚園(公立)
明和町立斎宮幼稚園、長島町立中部幼稚園、嬉野町立中原幼稚園、三重大附属幼稚園

◆幼稚園(私立)
あおい幼稚園、エンゼル幼稚園、すずか幼稚園、双康幼稚園、道伯幼稚園、のべ幼稚園、まるこ幼稚園、聖ヤコブ幼稚園

◆保育園(公立)
阿児町立神明保育園、安濃町立第一保育園、磯部町立ひまわり保育園、いなべ市立員弁東保育園、上野市立神戸保育園、大台町立三瀬谷北保育園、亀山市立第一愛護園、亀山市立みなみ保育園、河芸町立千里ヶ丘保育園、鈴鹿市立牧田保育園、多気町立佐奈保育園、津市立中央保育園、明和町立ささふえ保育園、松阪市立大河内保育園、松阪市立第一保育園、三雲町立三雲北幼稚園、明和町立なりひら保育所、四日市市立日永中央保育園

◆保育園(私立)
相賀幼稚園、あおい保育園、曙保育園、石葉師保育園、いずみ保育園、泉ヶ丘保育園、一色保育園、片田保育園、亀山愛児園、かわしま保育園、岸田保育園、片田保育園、くすのき保育園、久保保育園、くまだ保育園、厚生会保育園、光陽桑部保育園、さくら保育園(河芸町)、さつき保育園、志登茂保育園、白塚愛児園、すぎのこ保育園、佐八保育園、高岡ほろりん保育園、高田保育園、津愛児園、津カトリック保育園、つくし保育園、つくし第2保育園、つばみ保育園、トーマスぼうや保育園、豊野保育園、ドリムハウス保育園、長太の浦保育園、野町保育園、東大淀保育園、ひかり保育園、久居保育園、ひばり保育園、フジ保育園、船江保育園、ほろりん保育園、ぼだいじ保育園、三重保育園、みそら保育園、海山道保育園、みやま保育園、杜の街ゆたか保育園、山室山保育園、ゆたか保育園、わかすぎ保育園

◆施設
国立療養所鈴鹿病院、三重済美学院、シルバークアース豊寿園、みどり自由学園、名張育成園

◆企業
伊藤医院保育所(南大興オートセンター)、東海加工センター(株)、わたせい、(株)ZTV、幼児活動研究会(株)、ヤクルト(託児所)、(株)ライフテクノサービス

◆進学
中部楽器専門学校、皇学館大学

◆オフィス情報学科 就職先
◆建設業
大宮建設(株)、中部建設(株)、生川建設(株)

◆製造業
旭電器工業(株)、オムロン松阪(株)、(株)山水フーズ、JFEエンジニアリング(株)、シャープ(株)、重三重(株)、昭和四日市石油(株)、ダイワラック工業(株)、トリックス(株)、日東ビジネスサポート(株)、広瀬精工(株)、不二精工(株)、松阪段ボール工業(株)、(株)丸和製作所、(株)森田製作所

◆情報通信業
日立メディアカルコンピュータ(株)、百五コンピュータソフト(株)、(株)三重電子計算センター、NTTマーケティングアクト(株)

◆運輸業
三岐鉄道(株)、ホンダ運送(株)

◆卸売小売業
伊勢度会調剤薬局、岡井博進堂、カルソニックコミュニケーション(株)、(株)クロップス、サクルK(経営)、三交興業(株)、(南)CRメディア

師保育園、いずみ保育園、泉ヶ丘保育園、一色保育園、片田保育園、亀山愛児園、かわしま保育園、岸田保育園、片田保育園、くすのき保育園、久保保育園、くまだ保育園、厚生会保育園、光陽桑部保育園、さくら保育園(河芸町)、さつき保育園、志登茂保育園、白塚愛児園、すぎのこ保育園、佐八保育園、高岡ほろりん保育園、高田保育園、津愛児園、津カトリック保育園、つくし保育園、つくし第2保育園、つばみ保育園、トーマスぼうや保育園、豊野保育園、ドリムハウス保育園、長太の浦保育園、野町保育園、東大淀保育園、ひかり保育園、久居保育園、ひばり保育園、フジ保育園、船江保育園、ほろりん保育園、ぼだいじ保育園、三重保育園、みそら保育園、海山道保育園、みやま保育園、杜の街ゆたか保育園、山室山保育園、ゆたか保育園、わかすぎ保育園

◆金融保険業
◆中央銀行、(株)百五銀行、(株)三重銀行、三重信用金庫

◆医療福祉
岩間眼科病院、岩崎歯科医院、北大路眼科医院、佐藤歯科医院、塩川病院、中尾歯科医院、鳴神歯科医院、松葉耳鼻咽喉科、丸岡医院、三原クリニック、山中胃腸科病院、中尾歯科医院

◆サービス業
近畿日本ツーリスト(株)、老人福祉施設 寿、(財)三翠会、(株)総合警備保障、(株)トヨタレンタリース三重、砂子真税理士事務所

◆四大編入・専攻科
愛知学院大学経営学部経営学科、川村学園大学教育学部情報コミュニケーション学科、鈴鹿国際大学、名古屋商科大学、三重大学(研究生)、四日市大学

平成16年度人事

◆新任
学長 村澤 忠司
助教授 田口 鉄久
事務局学務課長補佐 松浦 幸代
" (総務課図書係) 渡邊 綾

◆昇任
教授 千草 篤磨
" " 鷲尾 敦
助教授 梶 美保
" " 駒田 聡子
事務局長 服部 進
事務局進路課長 武田 英機

◆退職
教授 久保田郁夫
" " 中田 登子
" " 福岡 重記
助教授 中瀬啓之助
" " 倉田 充
事務局総務課長 山中 榮子
" " 服部 義雲

◆異動
事務局次長兼総務課長 龍崎 龍哉
事務局学務課長 長谷川千鶴子
事務局学務課学生係兼 秋田 晶子
総務課図書係 藤善 真裕
事務局学務課主任 中瀬啓之助

◆再雇用
教授 中田 登子
主任助教授 倉田 充
講師(非常勤) 福岡 重記

公告 平成15年度における学校法人高田学苑の決算は次のとおりですので、当学苑寄附行為第34条の規定に基づき公告いたします。

貸借対照表

平成16年3月31日

(単位：円)

資産の部				負債の部			
科 目	本年度末	前年度末	増 減	科 目	本年度末	前年度末	増 減
固定資産	(7,062,713,768)	(6,909,841,560)	(152,872,208)	固定負債	(251,451,075)	(249,999,161)	(1,451,914)
有形固定資産	(4,277,529,613)	(4,461,442,251)	(△) 183,912,638	退職給与引当金	251,451,075	249,999,161	1,451,914
土地	310,500,677	310,500,677	0	流動負債	(360,705,156)	(366,187,387)	(△) 5,482,231
建物	3,464,965,144	3,599,146,049	△ 134,180,905	未払金	24,334,978	27,940,042	△ 3,605,064
構築物	131,039,052	147,148,951	△ 16,109,899	前受金	257,828,000	253,424,000	4,404,000
教育研究用機器備品	143,623,545	178,125,689	△ 34,502,144	預り金	24,279,734	28,386,630	△ 4,106,896
その他の機器備品	9,510,882	11,977,319	△ 2,466,437	修学旅行費預り金	50,188,444	52,680,715	△ 2,492,271
図書	185,220,665	180,292,978	4,927,687	卒業諸費預り金	4,074,000	3,306,000	768,000
車輛	2,750,170	4,331,110	△ 1,580,940	徴収不能引当金	0	450,000	△ 450,000
学苑林	29,919,478	29,919,478	0	負債の部合計	(612,156,231)	(616,186,548)	(△) 4,030,317
その他の固定資産	(2,785,184,155)	(2,448,399,309)	(336,784,846)	基本金の部			
借地権	2,257,500	2,257,500	0	科 目	本年度末	前年度末	増 減
電話加入権	1,285,980	1,285,980	0	第1号 基本金	7,004,488,942	6,985,676,870	18,812,072
施設利用権	212,035	241,241	△ 29,206	第2号 基本金	232,000,000	0	232,000,000
有価証券	3,838,498	3,838,498	0	第4号 基本金	150,000,000	150,000,000	0
差し入れ保証金	300,000	0	300,000	基本金の部合計	(7,386,488,942)	(7,135,676,870)	(250,812,072)
退職給与引当特定資産	258,490,000	258,490,000	0	消費収支差額の部			
施設設備拡充特定資産	1,509,620,000	403,080,000	1,106,540,000	科 目	本年度末	前年度末	増 減
長期火災保険特定資産	357,940,960	326,076,950	31,864,010	翌年度繰越消費支出超過額	△ 326,732,651	△ 179,893,084	△ 146,839,567
財政調整資金特定資産	650,000,000	1,452,040,000	△ 802,040,000	消費収支差額の部合計	(△) 326,732,651	(△) 179,893,084	(△) 146,839,567
長期前払金	1,239,182	1,089,140	150,042	科 目	本年度末	前年度末	増 減
流動資産	(609,198,754)	(662,128,774)	(△) 52,930,020	負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計	(7,671,912,522)	(7,571,970,334)	(99,942,188)
現金預金	449,756,308	511,747,199	△ 61,990,891				
未収入金	105,180,002	94,394,860	10,785,142				
修学旅行費預り資産	50,188,444	52,680,715	△ 2,492,271				
卒業諸費預り資産	4,074,000	3,306,000	768,000				
資産の部合計	(7,671,912,522)	(7,571,970,334)	(99,942,188)				

卒業生からのメッセージ

①就職先 ②就職して嬉しかったこと
辛かったこと ③将来の夢 ④高田短
大とは ⑤後輩へのメッセージ

楽しく・元気が一番!!

平成14年卒 井川 大輔

①大山田西保育園
②就職して嬉しかったことは、子どもたちと一緒に遊べることです。外で子どもたちと一緒に楽しく元気にサッカーやおかけごっこや泥遊びをして思い切り遊ぶこと。「先生、おもしろかったな。またしよな」と笑顔で言ってきたりすることです。疲れもとんでいきます。つらいことは、自分の気持ちにゆとりをもたないで保育している時です。そんな時は冷静に一人ひとりの子どもを見ることができません。また、そんな自分を子どもに見抜かれていることを改めて実感しました。

③自分で保育園を設立することかな。子どもに負けないくらい、夢は大きく持ちたいよね(笑)
④高田短大とは、自分と同じ職を志した仲間に出会える場です。私の場合は、その仲間と子どもの「かわいい」という気持ちを共感して盛り上がるのが嬉しかったです。また、その仲間と一緒に楽しく、保育の知識、いろいろな経験を培っていく場だと思います。

⑤皆様は、様々な実習を通して、それぞれの現場を見ていく。または、体験したと思います。その時、こんなはずではないと思う気持ちが生まれると思います。私も不安な気持ちが生まれました。でも、

自分が目指した時の気持ちを思い出して下さい。どの職についても楽しいか楽しくないと感じるのはまわりの問題ではなく、結局は自分自身の問題だと私は思います。皆様も元気にいっぱい遊び、いろいろな経験をして下さい。

今思うこと

昭和43年卒 磯部 高子

あのときの あの苦しみも
あときの あの悲しみも
みんな肥料に なったんだな
じぶんが自分に なるための
わたしの好きな言葉です。

幼稚園に勤めて早37年。その間には、社会の大きな変化から、子どもを取り巻く環境は大変厳しいものになりました。子ども達が将来豊かな心を持ち、たくましく生きていくために幼稚園教育の在り方について色々悩んだり、不安に思ったりする日もありました。しかし、今思うことは、そうして悩んだり、不安に過ごしたりした日々は、決して無駄ではなく全て今の自分の力になっっているということです。

物事に対し一生懸命努力することは、そのことよって得られた結果以上に大切なことを教えてくれるからです。日々の生活の中から沢山のことを学び、それを糧としてこれからの人生を歩んでいってほしいと思います。

銀行に就職して

平成16年卒 伊藤 瑠美

①株式会社百五銀行
②嬉しかったことは、同期や同僚などと

くさんの人と仲良くなれたことです。

辛かったのは、社会人になり自分のすることに對して責任を持たなければいけなくなり、毎日緊張していなければならぬことです。

③融資のスペシャリストになりたいと思っています。

④私が就職できたのは高短に入ったおかげだと思っています。就職活動に役に立つ授業がたくさんありました。高短に入ってから良かったと思います。

⑤2年生の方は就活で大変な時期だと思っています。毎日就職課に行くなどして真面目にしていれば必ず就職できます。頑張ってください。

三重電子計算センターに就職して

平成16年卒 近木 陽子

①株式会社三重電子計算センター
②嬉しかったことは、同期のメンバーに恵まれたことと、仕事が辛い分、休日を楽しんだり満喫できることです。

辛かったことは、入社後1ヶ月間の研修でひたすらお辞儀の練習をして筋肉痛になったことです。

③総務部人事グループに配属になり、1ヶ月が経ちました。覚えることが多く、毎日パソコンを前に頭を抱えています。基本的に忠実に、目の前のことを1つずつ確実にこなしていこうと元気に頑張っています。将来は先輩からも後輩からも尊敬され、自分自身と仕事に自信と誇りの持てる人になりたいです。

④やる気次第で資格が沢山とれるし、県内の色々な所に友達ができ、先生方もフレンドリーで楽しい学校。秘書の授業はたとえ秘書にならないとしても社会で生きてゆく上で必要不可欠な知識を吸収できたと思います。

同窓会の近況

北端 一子

勤務先の保育園庭の花は、春から初夏に移り変わろうとしています。春の草花がきれいな時期が終わろうとすると、夏の草花の準備にかかります。種を蒔き、本葉が見えたら、移し変えます。近所の方に、「へちま」と「ひょうたん」の苗をいただきました。さっそく植える場所を探し、植えました。こどもたちが蒔いた『朝顔』と『風船かずら』も芽が出てきました。夏には、きつときれいな『朝顔』の花と緑色した紙風船のような実を付けるのでしょうか。植木鉢に植えた『ミニトマト』には、花が咲いています。花から実になって早く食べられるように、こどもたちは、毎日ジョウロで水をやっていきます。「楽しみだね。」と言うと「うん、最初は、緑色なんやに、それから赤くなるの。」と『トマト』の説明をしてくれました。「よく知っているね。」

「うん、前から知ってたん。」楽しい返事です。子どもたちと一緒に楽しみながら育てています。畑には、『じゃがいも』と『たまねぎ』の収穫がもうすぐです。さつまいもの苗を植えるように、老人会の方たちが、耕したり、うねを作っています。

⑤資格はできるだけ多くとるべきです。可能な限り、色々なことにチャレンジして下さい。失敗を恐れずに自分から積極的に動けば、道は開けると思います。あと、勉強は苦手な人が多いと思いますが、良い成績をとることは就職に役に立つと思います。また、卒業したら就職する人が多いと思いますが、遊べるのは本当に学生の時だけです！今、思いっきり遊びましょう☆

てくれたりします。本当にうれしいことです。植える時には、「ななめに挿すといもがたくさんできるでな。」と一人一人の子どもたちに教えてもらいました。真っ直ぐに挿していた子どもたちは、教えてもらった通りに「これでいいの?」と聞いてしまいました。毎年、手伝っていたいただきます。収穫のときも老人会の方との共同作業です。楽しみます。

さて、短大部の活動をお知らせします。年に3〜4回の役員会の中で、継続している活動についての成果やこれからの課題について話し合っています。現在の活動は、主に短大学園祭において行っている『樹心同窓会短大部会バザー』です。同窓会短大部の役員の方や役員などが品物を提供して、収益金は、『自主的に開く同窓会』の補助を目的に使用しております。通信費の一部を補助しますので、詳しいことは、短大事務局に聞いてください。卒業したらなかなか会えない友達に、連絡しあつて同窓会を開いたらどうでしょうか?

昨年は、たくさんの参加で無事に集いが終わりました。新しい講堂、新校舎に驚かれたことでしょうか。これからも短大部の活動が計画されると思いますので、ぜひ、ご参加ください。お待ちしております。

編集後記

時の移り変わりとはいえ、お世話になりました多くの教職員の方々が退職されました。いま新しい教職員の方々をお迎えし、気持ちも新たに学生のための充実した教育環境と内容にするため一丸となり、古き伝統にとらわれることなく地域社会に求められる人材の育成に努力していきます考えています。(K)